

Introduction

～ まちの人紹介 ～



雄武町若草保育所保育士

い が ら し お と は
五十嵐 乙葉さん



今 回取材に応じてくれたのは、江別市の短期大学を卒業し、今年4月から雄武町若草保育所に勤務している西興部村出身の五十嵐さん。

雄武町を選んだ理由については「小学校から高校までを過ごした雄武町で社会人としての一歩を踏み出し、経験を積みたいと思いました。また、実習で若草保育所にお世話になった際に、私の理想とする素敵な先生方に出会い、その姿からたくさん学びたいと感じたことも大きな理由です」と答えてくれました。

保育士を志したきっかけについては「小さなころから子どもたちと関わる仕事に憧れており、歳の離れた従兄弟たちが、私が提案した遊びや手作りのおもちゃで楽しそうに遊ぶ姿を見て、

やりがいを感じたからです」と教えてくれました。

現在は1歳児クラスの担任を務めており「子どもたちが安心してのびのびと過ごせるよう、あたたかい環境づくりを心がけています。毎日、子どもたちの笑顔に元気をもらいながら、小さな成長を一緒に喜び、一人ひとりのペースを大切に保育を行っています」と笑顔で話してくれました。

今後の目標については「常に目標を持ち、いつまでも謙虚な姿勢で学び続ける人でありたいと思います。子どもたちや周りの方々に寄り添い、信頼される保育者・社会人を目指していきたいです」と話し、常に向上心を持ち続ける姿勢が伺えました。

五十嵐さんの今後の活躍に注目です。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいのある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼日に日に寒さが増し、冬の足音がすぐそこまで近づいてきました。私は昔からこたつに強いあこがれを抱いており「今年こそはこたつでみかんを」と意気込んでいたのですが、残念ながら今年も準備が間に合わず来年に持ち越しとなりそうです。皆さんは冬を越す暖の準備は整いましたか。暖房器具の使用には十分気をつけて、温かく安全にお過ごしください。（館田）